

4月から公益社団法人に

全国上下水道コンサル
タレント協会専務理事 尾崎 正明



1、沿革

全国上下水道コンサル
タレント協会は昭和60年4月に当時の厚生省及び建設省の許可を受けて社団法人として設立され、その後、公益法人改革に対応して平成23年11月に一般社団法人に移行、今年4月には内閣府より公益認定を受けて公益社団法人となりました。現在の会員数は1112名会員で、支部に所属する会員は述べ1922名会員となります。

2、主な業務

設立30周年となった平成27年に水コン協「ビジョン2015-2025」を策定し、平成28年度からは本部と支部が連携して中期行動計画に基づき協会活動に取り組んでいます。ビジョンではこれからの上下水道サービスへの担い手としての「挑戦」をコンセプトに掲げ、多様な官民協働の推進においてリーダーシップを発揮していくことを目標としています。

3、1年を通じての主な活動

上下水道事業体に対しては、8月から10月にかけて要望と提案活動を行っています。改正品確法に掲げられた項目の実現に向け要望を行うとともに、調査研究などによりまとめた成果のうち上下水道事業の施策に資するものについて提案を行っています。活動の一環として、以前から関東支部と関西支部では事業体と意見交換を行ってききましたが、最近では、他の支部でも事業体との意見交換の場を設ける機会が増えています。

この他、ストックマネジメントや災害時支援などに関して関係団体との意見交換を行っており、上下水道事業に係る効果的・効率的な業務の実施に貢献したいと考えています。

4、今年度の重点的な取り組み

公益社団法人に移行した初年度であり、協会活動に関する情報発信を強化したいと考えています。このため、引き続き全国で公開型の講習会を開催するとともに、HPを見直すことで、ネット上でも情報発信のための環境整備をしたいと思っております。

本部には、13の委員会があり、調査研究の成果として資料をとりまとめしており、7つの支隊では、それらの資料を活用して講習会・研修会開催などの協会活動に取り組んでいます。公益法人として上下水道事業の持続発展に貢献するため、今後とも、コンサルタレント技術者の資質向上、次世代の人材確保・育成などに努めていきたいと考えています。

また、熊本地震以降、事業体との災害時支援協定の締結が進んでいます。協定締結都市から支援要請があった場合、対応可能な会員を紹介することも、業務が円滑に進むよう情報提供を行う計画です。

また、技術講習会については、本部と支部で連携し、秋のシーズンを中心に全国で公開型ものを開催しています。HP等で開催情報を公表していますので、お申込みいただき、是非、ご参加ください。

さらに、人材確保・育成支援としては、11月から3月にかけて大学訪問に取り組んでいます。新卒者を対象に上下水道事業への理解促進や水コンサルタレントの魅力を紹介することで、職業の認知度を高めることを目的としています。

また、熊本地震以降、事業体との災害時支援協定の締結が進んでいます。協定締結都市から支援要請があった場合、対応可能な会員を紹介することも、業務が円滑に進むよう情報提供を行う計画です。